

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月12日(月)

事務事業		農産物安全安心対策事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36321	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市廃プラスチック収集処理活動補助金交付要綱 深谷市環境保全型農業直接支払事業補助金交付要綱					
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		環境に配慮した農業生産と安全安心な農産物の供給を図るため、農業経営者から排出される農業用廃プラスチック類（廃ビニール、廃ポリエチレン）の処分費用の一部を補助金として交付し、適正な処分を図るものである。また、化学肥料や化学合成農薬の使用削減や有機農業等に取り組む農業者団体へ補助金を交付するものである。								
目的 ※何のために		農産物の安全性を確保し消費者の信頼を得るため								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会 農産物生産者及び消費者								
手段 ※どのように		深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会への補助金交付 農業者団体等への補助金交付								
成果 ※何を求めるか		園芸用廃プラスチック類の適正処理、野焼きや不法投棄の防止 消費者の信頼性向上								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	農産物安全安心対策事業	2,642,840
本事業の 主な業務		・ 深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会への補助金交付								
		・ 環境に配慮した農業生産に取り組む農業者団体等への補助金交付								
		・								
		・								
		・								
		・								

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		補助金交付（廃プラ協議会、農業者団体）	・ 補助金交付（廃プラ協議会、農業者団体） ・ GAP認証制度の普及促進	補助金交付（廃プラ協議会、農業者、農業者団体）	補助金交付（廃プラ協議会、農業者、農業者団体）		
事業費	予算（現額）	3,310,000	3,800,000	4,342,000	3,815,000		
	決算額	2,735,600	2,642,840	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	127,800	125,100	144,000		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	2,607,800	2,517,740	4,205,000	3,671,000		
人件費	従事職員数（人）	0.57	0.56	0.72	0.72		
	人件費相当試算※	4,424,292	4,406,952	5,901,399	5,901,399		
総事業費試算		7,159,892	7,049,792	10,243,399	9,716,399		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	農家戸数	目標値	戸							
		実績値		2,134.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			対象者をコントロールできないため目標値を設定しない/農林業センサスによる						
	実績値の算出式									
	活動指標 2	農業用廃プラスチック収集処理に係る補助金交付額	目標値	千円						
実績値			2,316.00							
目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により農業用廃プラスチックの年間収集量が違うため目標値を設定しない							
実績値の算出式										
成果指標 1		塩化ビニール収集量	目標値	t						
	実績値		32.11							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により年間収集量が違うため、目標設定なし / 当該年度実績報告書による						
	実績値の算出式									
	成果指標 2	ポリエチレン類収集量	目標値	t						
実績値			83.67							
目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により年間収集量が違うため、目標設定なし / 当該年度実績報告書による							
実績値の算出式										
成果指標 3		野焼き・不法投案件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値		0.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			適切に処理されることを目標とするため、0件で設定 / 問合せ件数						
	実績値の算出式									
			目標値							
実績値										
目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市廃プラスチック収集処理活動補助金交付要綱に基づき、農業用廃プラスチック類の処分費用の一部を補助金として、深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会に交付した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	協議会や市内JAとの連携のもと、計画通り農業用廃プラスチックを収集・処理することができ、野焼きや不法投棄等は確認されず、環境に配慮した農産物の生産につながった。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会や市内JAとの連携を行うことで、計画通りに農業用廃プラスチックを収集・処理することができ、野焼きや不法投棄を防止することができた。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保に資するとともに、農業経営の改善や効率性向上にもつながるGAP（農業生産工程管理）認証制度について、農業者へ広く周知し、また理解を深める講習会を実施する。
達成状況及び その効果	農業経営の改善や効率的な生産環境の構築につなげるため、農業者を中心とした「GAPセミナー」を開催し、GAP認証制度や取得の必要性の理解を深めることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農産物安全安心対策事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36321
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div>		評価の内容説明					
		農業用廃プラスチックは協議会や市内JAと連携を図り適正な収集・処理が行えており、野焼きや不法投棄の防止につなげられ、産地として安全安心な農産物供給が図られているため、引き続き協議会等と連携し、環境に配慮した農産物の生産を図っていく。さらに、農業用資材や肥料の高騰に伴い、農業生産コストが上昇する中、農業者が将来に渡って安定した農業経営や販売流通確保につなげることができるよう、農業者自らが農業生産工程を見直すGAP認証制度の取得を今後推進し、消費者からの信頼をより向上させていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	農業振興課長 前野 武一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	GAP認証制度については、まだまだ認知度が低いことから、埼玉県や市内JA、市場などと連携を図り、GAP認証取得の推進を図っていく。また、補助要綱等を制定したうえで、GAP認証取得者に対し、取得に係る経費の一部補助を行っていく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	GAP認証取得者に対して、取得に係る経費の一部補助を行い取得推進を図っていく。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 2	指標名	農業用廃プラスチック収集処理に係る補助金交付額
区分	成果指標 1	指標名	塩化ビニール収集量